


被災市町村情報

福島県広野町

1 市町村の状況等

項 目	内 容
概 要	<p>広野町は、福島県双葉郡の南端に位置し東は太平洋に面しています。人口は、約5,000人です。また、東京電力(株)広野火力発電所があり、関東圏に電力を供給しています。気候は、一年をとおして温暖ですが、冬は、若干の雪が降ります。</p>
復 興 状 況	 <p>広野町は、太平洋に面しており、JR 常磐線より東側の約60haが、大津波により壊滅的被害を受けました。また、福島第一原子力発電所の事故により、殆どの町民が近隣市町村を中心に避難しました。</p>  <p>*現在の駅東側地区の復興状況 災害公営住宅・商業施設・防災緑地周辺</p>

	インフラの復旧や宅地等の生活圏における除染が概ね終了したことや、災害仮設住宅の供与期間が終了したことに伴い、平成29年度の町民の帰還率は8割に達する見込ですが、今後、復興計画に基づき、双葉郡全体の復興のための拠点形成、災害に強いまちづくり、地域コミュニティ・絆の再生、健康で安心して暮らせる住環境の整備等を進める上で、課題は山積しております。ぜひ、皆様のお力をお貸しくくださるようお願いいたします。
ホームページアドレス	http://www.town.hirono.fukushima.jp/
交通	◆JR 常磐線上野駅よりいわき駅まで約2時間30分。いわき駅から広野駅まで約25分、広野駅から広野町役場まで、徒歩で約10分
放射線情報	0.10 μ SV/h（4月1日現在、役場本庁舎前） 広野町内の生活圏の除染は完了しており、空間放射線量は落ち着いております。放射線情報については、町ホームページをご覧ください。

2 勤務条件等

項目	内容
勤務時間	8時30分～17時15分 (休憩時間：12時00分～13時00分)
休日	土曜日、日曜日、国民の祝日、12月29日～1月3日
時間外勤務	業務の進捗状況により、お願いする場合があります。また、休日開催の町民説明会及び各種イベント等についても勤務して頂く場合があります。
年次有給休暇	暦年に20日付与、繰越20日限度。 年の途中で派遣された場合は、20日に前年からの繰越日数を加えて得た日数から、広野町職員に併任された日の前日までに使用した年次有給休暇の日数を減じた日数となります。
その他の休暇	特別休暇等のその他の休暇については、広野町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び規則に定めるものとします。
健康診断	当該年度において、派遣元での健康診断の受診を受診していない場合は、広野町の事業に基づき実施します。 なお、希望される場合は、帰任の際に、内部被曝検査の受診が可能です。
旅費の扱い	赴任旅費、帰任旅費は広野町が支給します。 その他、広野町の業務に係る旅費については、広野町が支給します。なお、派遣元への報告等のための一時帰還にかかる旅費については、派遣元に負担して頂きます。また、派遣元への帰省にかかる旅費については、年2回広野町が負担します。
被服	作業服、長靴、ヘルメット等については、広野町の規定に基づき貸与します。ただし、作業服については、不足することが予想されますので持参ください。

宿 舎	町が宿泊費を負担するビジネスホテル、レオパレス等の家具付賃貸住宅、又は町営住宅等を予定しています。賃貸住宅等の家賃等は、広野町が負担しますが、光熱水費については、個人負担となります。
備 品	レオパレスには、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンは備え付けられています。なお、備え付でない民間又は公営住宅等の場合は、同様の備品を広野町で用意します。
駐 車 場	駐車場を準備しますので、自家用車を所有されている場合は、お持ちいただいた方が便利です。
通 勤 手 段	自家用車、又は電車です。
通 勤 時 間	◆JR 常磐線いわき駅から広野駅まで約25分、広野駅から広野町役場まで、徒歩で約10分 ◆JR 常磐線いわき駅前から広野町役場まで、車で約40分
立 地 条 件	JRいわき駅周辺のビジネスホテル、又は、いわき駅より広野駅寄りにレオパレス等を準備する予定です。いわき駅周辺には、金融機関、郵便局、デパート等があり日常生活に関しては比較的便利です。
単 身 赴 任 手 当	派遣元の規定に基づき、派遣元で支給します。
寒 冷 地 手 当	該当なし
災 害 派 遣 手 当	広野町に滞在する期間の1日につき、3,970円を乗じた額を支給します。
勤 務 状 況 等 の 報 告	勤務状況、健康状況等の報告については、別途、派遣元が指定する「勤務等状況報告書」により報告します。
経 費 の 精 算	年度末に負担金として一括精算します。

3 その他（コメント等）

現在町では、復旧から復興へと向かう途上で、災害公営住宅の整備、津波被害地区の再開発等の大規模事業を執行中ですが、これらの設計監理、施工監理を担当できる職員の人数及び技術力ともに不足しており、全国からの派遣職員に依存せざるを得ない状況下にあります。これに加えて、避難先から帰還した町民のための施策という新たな行政課題に対応するための人員として、一般事務職にとどまらず保健師等の専門職の人員も不足しております。

震災以降の行政組織体制を見直し、新たなまちづくりの方向性として、子育て支援課の創設、認定こども園の整備、道の駅整備など新たな施策を実施していく上で、現状町では定員管理上許される限りにおいて職員採用に努めておりますが、原子力災害による不安感は今も薄れることはなく、職員採用試験を実施しても応募者数が極めて少なく、即戦力となる職員を採用するどころか、採用予定者数を確保することすら困難な状況にあります。

町の予算規模も震災前の3倍以上に拡大し、町の職員定数内の人員では対応不可能な状況であり、他の自治体からの人的支援なくして、町の復興・再生を進めていくことが出来ない状況であります。

復興に弾みをつけて町民の帰還を加速させ、ふるさと再生と町民の笑顔が戻りますように、皆様のお力を是非、お貸しくださいますようお願いいたします。

4 担当者連絡先

所 属 部 課 名	総務課庶務係
担 当 者 職 氏 名	課長補佐 横山
電 話 番 号	0 2 4 0 - 2 7 - 2 1 1 1
F A X 番 号	0 2 4 0 - 2 7 - 4 1 6 7
メ ー ル ア ド レ ス	soumu@town.hirono.lg.jp